仙北市立神代中学校　学校報

野中清水

No. 21　令和8年10月9日（金）

校訓:「創造」「根気」「協力」
教育目標:ゆたかにきずき　あしたをになう　～豊かな人間性と確かな学力を育む学校教育の充実～

前期の集大成「神中祭」迫る

明日の本番に向け、８日、ステージ発表の予行を行いました。今年は神代小学校の６年生が参観に来てくれました。また、生徒と共におやま囃子に出演する地域の方々やお母さん方も、着付けのために駆け付けてくださいました。たくさんの方々に見守られ、生徒たちも張り切って発表することができました。

今年度のステージ発表は、英語暗唱、ダンス、全校合唱、劇、吹奏楽部の演奏、おやま囃子と盛りだくさんです。全校58名の生徒たちは、出演だけでなく、進行や裏方の仕事も担い、一人何役もこなします。当日は、さらに展示や販売の仕事も加わります。そんな忙しさの中でも、３年生を中心に、自分の出番や仕事がないときには、掛け声や手拍子で仲間の発表を盛り上げる姿が見られました。

「自分たちでつくる」「自分から動く」「声を出す」。この３つを「神中祭」成功への挑戦として、ここまで頑張ってきました。神中生一人一人がフルパワーで自分の役割を果たし、力を合わせて、つくり上げてきた「神中祭」です。

ぜひ、ご家族をはじめたくさんの地域の皆様に、楽しんでいただきたいと思います。

神中祭
10月10日（土）
開場8:40　開演:8:55

※ステージ発表の終了予定時刻は12:35です。
※ステージ休憩の間は、校内装飾や学習展示、企画展をお楽しみください。サツマイモの販売も行います。





チームの個性光る!「ダンス甲子園」

５日に行った「ダンス甲子園」は、１年生３チーム、２年生３チーム、３年生５チームの全11チームによるコンテストとなりました。

各チームは夏休み明けから、体育の時間に選曲や振り付け、フォーメーションを考え、練習を重ねてきました。

全てのチームにそれぞれ工夫があり、「自分たちらしさ」を表現しようと試行錯誤してきたことが伝わりました。仲間と話し合い、練習を重ね、一つのものをつくりあげた、その過程に大きな価値があります。

「神中祭」では、ダンスはもちろん、どの発表もご家族や地域の皆様に思いが伝わるよう、もう一段ギアを上げてステージに臨んでほしいと思います。


最優秀賞に輝いた３年生チーム「スマイリー吉田」のダンス

「抱返りクリーンアップ」実施

６日、抱返り渓谷のクリーンアップを行いました。この活動は、本校の地域貢献活動の４つの柱となる活動の３つ目に当たり、県内有数の景勝地である抱返り渓谷を紅葉シーズンの前にきれいにしてお客様を迎えようという取組です。

当日は、市の観光課、警察署の職員の方、少年保護育成委員の方など多くの方々に見守られながら、神代小学校６年生と一緒に、全校生徒がエリアに分かれて、清掃活動に汗を流しました。児童生徒の働く姿に、観光やハイキングに訪れたお客様が温かい言葉を掛けてくださる様子もありました。

「自分たちが協力して動いたことで、見違えるほどきれいになった。」「地域のために頑張れていると実感できた。」「これからも地域を大切に守っていきたい。」など、生徒の振り返りから、達成感や充実感とともに地域貢献意識の高まりが感じられました。

